

2021

3/27(土)・3/28(日)

午後2時30分開演 (午後1時30分開場)

京都コンサートホール

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

Sat, March 27, 2021 / 2:30PM Sun, March 28, 2021 / 2:30PM
Kyoto Concert Hall

旋律美と郷愁あふれる
広上淳一のドヴォルザーク
新進気鋭ヴァイオリニスト
小林美樹が奏でる珠玉のブルッフ!



©Kayoko Yamamoto

指揮 広上 淳一 (常任指揮者兼芸術顧問)

Conductor: Junichi Hirokami (Chief Conductor & Artistic Advisor)

ヴァイオリン 小林 美樹

Violin: Miki Kobayashi

2021 2/13(日)から発売

入場料 S ¥5,000(売切) A ¥5,000(売切) B ¥4,000
C ¥3,000 P ¥2,000 (舞台後方席)

*S席及びA席は「京響友の会」会員で満席となりましたので、一般販売はいたしません。

- ◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。京響(075-222-0347)までお問い合わせください。
- ◆障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱います。(窓口で手帳等の証明書をご提示ください)

プレイガイド(電話予約)

- 京都コンサートホール… (075)711-3231 ●ロームシアター京都… (075)746-3201
- 24時間オンラインチケット購入 <https://www.e-get.jp/kyoto/pt/>
- チケットぴあ… (0570)02-9999 Pコード167-997
- ローソンチケット… (0570)000-407 (電話予約休止中) Lコード54260

お問い合わせ

京都市交響楽団 (075)222-0347 <https://www.kyoto-symphony.jp/>
京都コンサートホール (075)711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>

京都市交響楽団

第654回 定期演奏会

The 654th Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

©Tatsuo Sasaki



©Tatsuo Sasaki

曲目&ソリスト変更!

本公演は、新型コロナウイルス感染症を巡る状況に鑑み、徹底した感染防止策を講じた上で、曲目の一部及びソリストを変更して開催いたします。何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

出演を予定しておりましたソリストのダニエル・ホープ(ヴァイオリン)は、政府による新型コロナウイルス感染症拡大防止のための入国制限の影響により来日が不可能となり、ソリストを小林美樹に変更いたします。どうぞご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

ドヴォルザーク: 序曲「自然の王国で」 作品91
ブルッフ: ヴァイオリン協奏曲第1番ト短調 作品26
ドヴォルザーク: 交響曲第7番ニ短調 作品70

Dvořák: "In nature's realm", overture op.91
Bruch: Violin Concerto No.1 in G minor op.26
Dvořák: Symphony No.7 in D minor op.70

*開演前の「プレトーク」は開催いたしません。

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術創造活動活性化事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会

文化力 文化力

◎未就学のお子様のお入場はお断りいたします (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「託児ルーム」は受付を中止しております)。◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

主催: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 京都市 協賛: ローム株式会社 協力: 株式会社ドルチェ楽器 後援: (株)エフエム京都 発行: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。



京都市交響楽団

第654回

定期演奏会

The 654th Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

2020年度の締めくくりには、広上淳一の指揮で味わい深いドヴォルザークを！
序曲三部作「自然と人生と愛」の第1曲として作曲された牧歌的な「自然の王国で」と、
渋みと素朴さの中にチェコの民族舞曲のリズムや郷愁を湛えた交響曲第7番をお贈りします。
2011年に伝統ある第14回ヴェニヤフスキ国際ヴァイオリンコンクールで第2位を受賞し、
国内外で活躍する新進鋭ヴァイオリニスト小林美樹が奏でる
甘美なブルッフのヴァイオリン協奏曲にもご期待ください！

指揮



©Masaaki Tomitori

広上 淳一 (常任指揮者兼芸術顧問) / Conductor : Junichi Hirokami (Chief Conductor & Artistic Advisor)

東京生まれ。東京音楽大学指揮科に学ぶ。1984年、26歳で「第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」に優勝。以来、フランス国立管、ベルリン放送響、コンサートヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。これまでノールショピング交響楽団、リンブルク交響楽団、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団のポストを歴任、このうちノールショピング響とは94年に来日公演を実現、さらに米国ではコロンバス交響楽団音楽監督を務めヨーヨー・マ、ミドリをはじめ素晴らしいソリストたちとともに数々の名演を残した。近年では、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響、モンテカルロ・フィル、バルセロナ響、ビルバオ響、ポーランド国立放送響、スロヴェニア・フィル、サンクトペテルブルク・フィル、ラトビア国立響、ポルティモア響、サンパウロ響、ニュージーランド交響等へ客演。国内では全国各地のオーケストラはもとより、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管弦楽団にもたびたび招かれ絶賛を博している。オペラ指揮の分野でもシドニー歌劇場デビューにおけるヴェルディ《仮面舞踏会》、《リゴレット》が高く評価されたのを皮切りに、グルック、モーツァルトからプッチーニ、さらにオスバルト・ゴリホフ《アイナグマル》の日本初演まで幅広いレパートリーで数々のプロダクションを成功に導いている。また、多忙な指揮活動と並行して、母校東京音楽大学教授としても後進の育成に情熱を注いでいる。京都市立芸術大学客員教授。2013年「第32回藤堂音楽賞」、2015年京響とともに「第46回サントリー音楽賞」、2016年「第36回有馬賞」を受賞。2019年度「京都市文化功労者」。2020年「令和2年度京都新聞大賞」受賞。2008年4月から京都市交響楽団第12代常任指揮者、2014年4月からミュージック・アドヴァイザーも兼務。2017年4月からは札幌交響楽団友情客演指揮者も務める。2020年4月から京都市交響楽団第13代常任指揮者兼芸術顧問、及び京都コンサートホール館長に就任。

ヴァイオリン



©Kayoko Yamamoto

小林 美樹 / Violin : Miki Kobayashi

2011年、5年に一度ポーランドで行われる伝統ある第14回ヴェニヤフスキ国際ヴァイオリンコンクールにて第2位を受賞して一躍注目を集めた新進鋭のヴァイオリニスト。2006年にはレオポルド・モーツァルト国際ヴァイオリンコンクールにてギドン・クレーメル氏から審査委員特別賞を受賞。これまでに、国内主要オーケストラと共演するほか、マキシム・ヴェンゲーロフ氏の指揮や彼から推薦を受けたポーランド主要オーケストラとも共演している。2016年トヨタ・マスター・プレイヤーズ・ウィーンではソリストに抜擢され国内4都市でのツアーではウィーン・フィルのコンサートマスター、シュトイデ氏と共演し絶賛を博す。東京や全国各地でリサイタルを行う一方、宮崎国際音楽祭、鎌倉芸術館ゾリステンなどにおいては室内楽にも精力的な活動を展開している。2014年第24回出光音楽賞を受賞。これまでに「レコード芸術」誌の特選盤、推薦盤を含む3枚のCDをリリースし、2020年10月、4枚目となる待望の新譜「Anthology」をリリース。桐朋学園ソリストディプロマコースに特待生として入学後、明治安田クオリティオブライフ及びロームミュージックファンデーションから全額奨学金を得てウィーン私立音大で学んだ。これまでに徳永二男氏、パヴェル・ヴェルニコフ氏から多くの薫陶を受けたほか室内楽は東京クアルテット、毛利伯郎、岩崎洸の各氏に学ぶ。

京都市交響楽団 / City of Kyoto Symphony Orchestra

1956年に創立し、日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つオーケストラ。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一が就任。2014年4月から常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2015年広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年記念国内ツアーを開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞受賞。2017年4月から下野竜也を常任首席客演指揮者に据えて広上・高関・下野による3人指揮者体制を確立。2020年4月からは新指揮者体制として、第13代常任指揮者兼芸術顧問に広上淳一、首席客演指揮者にジョン・アクセルロッドが就任し、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。



©井上写真事務所 井上麗和

ご来場のお客様へ：新型コロナウイルス感染拡大防止に関してのご理解とご協力をお願い

以下の症状があるお客様はご来場をお控えください

- ・来場前に検温し、平熱と比べて高い発熱がある方、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐の症状のある方。
- ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある方、過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある方。
- ・その他、体調に不安がある方（高齢者や既往歴のある方等、重症化リスクの高い方は、医師の判断や関係機関の情報をご確認の上、慎重なご判断をお願いいたします）

ご来場される際は以下にご協力ください

- ・マスクのご着用および咳エチケットにご協力をお願いいたします。マスクを着用されていないお客様はご入場をお断りする場合がございます。
- ・ご自身の顔（目、鼻、口など）を触る行為にお気をつけただくとともに、頻繁に手指の消毒・手洗いをお願いいたします。
- ・ホール内でのご歓談はお控えください。

公演当日のホールにおける感染症拡大防止・予防への対応

- ・ホール入口では非接触体温計を用いて、すべてのご来館者様の検温を実施いたします。
- ・ホール内の換気をより強化し、外気取入れによる換気を行います。
- ・ホール内各所にアルコール消毒液を設置するとともに、手すりなどのホール内消毒を強化いたします。
- ・演奏者の間隔、お客様と演奏者との間隔は十分な距離を確保いたします。
- ・プログラム等の手渡しでの配布はいたしません。ご自身でお取りいただきますようお願いいたします。
- ・出演者・関係者・スタッフは自宅での検温やマスクの着用、手指消毒を徹底します。体調のすぐれないスタッフがいた場合は、そのスタッフが当日の運営を行うことはございません。
- ・スタッフも、お客様のお声がけをできる限り控えさせていただきますことを、あらかじめご了承ください。